

今シーズン初の家きん飼養農場での 高病原性鳥インフルエンザ発生

- ◆ 10月17日に北海道の肉用鶏農場(1.9万羽)にて今シーズン初の高病原性鳥インフルエンザ疑似患畜を確認しました。
- ◆ 死亡野鳥対応は国内複数か所での確認により、10月15日から対応レベル3へ引き上げられている状況です。
- ◆ 昨年より1ヶ月早い(昨年は11月25日)発生です。今後発生が続く可能性もあり、今後の情勢を注視願います。

R6～シーズン

R6. 9. 30
北海道乙部町
ハヤブサ
H5N1亜型

R6. 10. 8
北海道別海町
カモ類
H5N1亜型

R6. 10. 17
北海道厚真町
肉用鶏(1.9万羽)

- ◆ **飼養衛生管理基準の遵守、特に以下の7項目を重点項目として改めて遵守状況の確認と徹底をお願いします。**

- ①衛生管理区域に立ち入る者の手指消毒等
- ②衛生管理区域専用の衣服及び靴の設置並びに使用
- ③衛生管理区域に立ち入る車両の消毒等
- ④家きん舎に立ち入る者の手指消毒等
- ⑤家きん舎ごとの専用の靴の設置及び使用
- ⑥野生動物の侵入防止のためのネット等の設置、点検及び修繕
- ⑦ねずみ及び害虫の駆除